〔昭和七年二月二十三日〕 磐城新聞 〔火曜日〕 第三千三百五十八號 〔一〕
〔大正十二年二月十日第三種郵便物認可〕

夕刊
磐城新聞
二月二十二日發行
定價一ケ月金五拾錢 郵税金六拾錢
廣告料 一段一行金壹圓 五拾錢
（日曜祭日翌日休刊）
發行所 磐城新聞社 福島縣印刷業組合員 柏木哲 福島縣印刷業組合員 田町六番地 平町

舊き世界を顧る

赤井嶽男

十五

K女の思ひ出

（大正一二、七、一九記）

當時樺太在勤の官吏には本俸に對する六割乃至八割（上に薄く下に厚く）の加俸てあつた。而もその頃樺太の三市街と呼ばれ大泊に次ぐ殷盛の港として萬般の活氣が遙かに、政廳所在地たる豊原を凌駕する眞岡の探義な彼の父には子供可愛い題として警務係長の要職にの囚はれた不用意な一念かあつた彼の父丫警部月々のら或る場合驕る平家に貞操收入は一家眷族を率ゐるに充分に勿論生活上の脅威壓迫を感ずる如き事はなかつたのであるが、一度掛冠して世知辛い内地へ還つてからは若干の退官賜金それとも思給資格者であつたにせよそうした零碎な金額では勿論完全に子女のうつり着したのであつたが漢拯ばの假聲を遣ふ者では無いがさへも整へる事が至難であつた。不馴れな『さむらひの商賈』は多くの場合失敗し勝ちなものである。彼の父亦永く徒食を許さぬ周圍の事情より何等かの事業を計劃する處あつたが新しく持ち代へた何年腰間に親しんだサァベルとは餘りに懸隔の甚しい牙籌なる品ものの目算は部下警官を願使して檢擧するそれの如くには容易に數字上の要領を得る事が出來なかつた。

假令永い間に渉つて一家生活の基本であつたものにもせよ。その職業上から受けた苦い經驗はまた極めて深刻な人生の悲哀である。

自分の苦しい体驗に懲々して『……孫子の代迄させまじきもの……』と己が過去の生活を顧みて恁うした觀念をして居た彼の父は以愛は他人の中の悲哀に變つた。T子の環境は悉く變つた。……山紫水明絵の如き瀬戸内海近くの思ひ出多い郷里を後に

『富士の峯漕ぐ捨て小舟……』とその絶景を謳はるる風光明眉な諏訪湖畔の町かに今日も晴れたる

吉植庄亮

時代警語

○人間八顛び八起……（俚諺）

クチャード曰く。噫、汝若し一たび試みて而して成功せずば更に一たび之を試みよ、再度もし成功せずんば則ち一百度若くは更に一百度を試むべし。而して尚は成功せずんば則ち二百回、三百回、四百回、五百回之を試むべし……

殘寒孤愁

古川信一

君まさぬ平の家の窓衣は、今日もさみしく閉ぢし儘なり
北國は雪にてあらし此の寒き、我が妹子よとく戻り來ませよ
原ロッを壁に掛けて凍てし夜の、道なあてなくしばし歩ゆめり
雪深き出羽の小町の彼の家に、君はあれしか今年後十時
谷日けふ蜉子の淵の磯砂に、轉びて君と君密みたし
戻ります妹子を迎へて四ツ倉に、火打ちの式を見むと思へり

（二五九二、二、一三）

早起會

原勝（童謡詩）

（一）

近道
小道
竹やぶの細みち
タレも
通らぬ
朝の露みち
早起會に
おくれぬ
やうに
露くさ
ふんで
さやさや朝みち。

社會の今日

○

とやにつく牝鶏多くなりにけり、春あたたかに

吉植庄亮

講談

俠艶 女長兵衛

東京 斯波南史（魚崎潮畫）

（一四〇）

是れでは成らぬと思ふから飯岡右膳 右『是れはしたり御前は何う云ふものでございますか、彼れ程の目にお遭ひなさりながら長兵衛を僧いとは思召ませぬか』勘『イヤ僧い奴だ、長兵衛は僧いには違ひないが、腕膳にして見ると武平が勘十前には感心させられた』右郎の密事を知つて、明日にしたのだ、違ふ筈は無いぞ！』右『ところがどうも違つて居たらしいので、アノ跡で手前が出會した奴は確かに武平で、手前の聲を來き分けて飯岡ではないかと申敷へ立戻る、此方は松蔭武します、少し驚いたが武平であつては大變と、取つて押え首を掻かうとする今一息のところで邪魔が入りました、二人連れの腕ッ節の強い奴が加勢に出ました ので、手前は心ならず取逃がしましたが、確かに武平だつたに違ひありません』勘『其奴が生きて居ると容易ならぬ話しだ、其んな大切なことを歸り掛け迄忘れて居る奴があるか、是り前には感心させられた』右『是れでは成らぬと思ふから飯岡右膳 右『是れはしたり御前は何う云ふものでございますか、彼れ程の目にお遭ひなさりながら長兵衛を僧いとは思召ませぬか』勘『イヤ僧い奴だ、長兵衛やア責るのが當然だが』右『あれ又左様なことを仰しも夫れを支配頭の方へ持出やる僧いと思召すなら何とすると云つたのは出鱈目只だかして此の仇を返さなくては成りますまい』勘『夫れも然うだ併し寒い〳〵早くの熱酣を持つて來い』其晩は長兵衛仇返しの密議に耽り右膳も遂に夜を明かした。夜が明けてからイザ歸ると なつた時に、始めて思ひ出したのは松蔭武平のことでございます 右『是りやアい かん、御前大變なことを失念して居りました、御前が斬りました奴は彼れは武平では無いらしうございますぞ』勘『ナニ武平と云ふ奴は予は知らん、顔を見たことも無いが、貴様がかばみの提灯を提げて來る彼れが武平だと申したから、其の提灯を提た奴を試し斬り取つて押えて武平を刺止めやう、多少騒ぎに成つても自分の家には代られぬ話しが纏まり、漸くにして四ツ半時分になつて、右膳は何喰はぬ顔で築土の屋敷へ立戻る、此方は松蔭武平でございます、昨夜の事が如何にも胸に落ちない、松『市助どんや』市『ヘエ』松『私は若様のお伴をして行つたと言つて置いて呉れ夕方には歸るから』市『宜しうございます』武平は波彌を連れて出る、其足で三番町の多田利太夫の所へ來て、前夜の出來事を話し 松『手前はよし殺されやうと構はぬが、手前を邪魔にするのは若様が邪魔だから起つたことと考へる、若様の御身の上が危險だから暫く預かつて頂きたい、是れより跡部の御前様にた目にかかつて委細申上げる積り』利『イヤ然う云ふ譯ならば我等も同道する』若様波彌は利太夫屋敷に殘して、兩人打ち揃つて跡部彦四郎方へ參り話すと彦四郎が 彦『何れは總集會は二十九日午前十時面倒が起るものとは思つてから平館に於て開催木村郡居たが、それはチト恐ろし團長の告辭、團員の演説、過ぎる惡法だ、成程當主波講演、活動寫眞等あると彌の上に間違ひ出來たでは今迄面倒を見てやつた甲斐が無くなる、一應御親類方の意見を聽かなくては』と是れから多田利太夫が諸方を駈け廻つて跡部の屋敷に親類寄合ひが開かれました

ラヂオ

二十三日〔火曜〕…

仙臺 JOHK

△前七、〇〇A ラヂオ體操
△七、一〇A 臨時全國ニュース
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理献立（チキングレロオーボンム）朝倉長吉
日用品値段（食料品るい）
△一〇、三〇A 家庭講座（空箱で作る雛壇）吉見誠
△正午A 時報
△後〇、〇五A 吹奏樂海軍々樂隊
△〇、四〇A 家庭大學講座（心得置くべき醫學の知識）醫學博士平松鶴吉
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇 ニュース
△四、二〇 六、〇〇A 角力中繼（春場所大角力中繼…二日目）國技館より
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇（子供の時間）獨唱と齊唱 お手玉子供會
△六、三〇A 英語講座（中等科）高田敏子
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、三〇A 中部支那事情特別講座（上海の金融爲替）三井銀行外國爲替課長土屋計左右
△八、〇〇A 俚謡
△八、三〇A 三曲
△九、〇〇A 常磐津（展橋）
△九、三〇A 時報
△九、三〇C 奉天より（新國家の建設、蒙古王）蒙古語にて放送
△九、四〇A ニュース 氣象通報 番組豫告 積雪量

女子青年 方部總會

東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

諸判定應需

一月十八日 赤口 甲寅 火曜
建 室宿
二月二十三日

▲一白の人 華美に流るれば後の苦つうな増すべき日注意▲二黑の人 一時の苦難を通り抜ければ安心の城に入る▲三碧の人 善き分別も浮ばず處置に苦しむ日病難注意▲四綠の人 手を引き連れて互に助け合ふやうするが安全▲五黄の人 取交に目を配りて油だんなければ吉日となる▲六白の人 辛棒の棒の太き程幸福も大となる有望の日▲七赤の人 無理なせざれば盛運な有つ起業金談背講吉▲八白の人 前途に光明を認むる日名弘開店緣談等に吉▲九紫の人 反抗心を起さず上下の変りを深ふするに吉

平町處弔錄

△出生

新川町二二吉田脩造二女八重子 鍛冶町二八東京市本郷區駒込坂下町七五アベ林鍛五男富雄 遠匠小路二一山名龍澄二男隆雄

△婚姻

遠匠小路二一山名龍澄（ニ八）勿來町 關田寺下一小野スエ（ニ九）

六割を入れる

第二校の意氣込み

平第二校の磐女入學志願者は八十七名あり試驗準備の最高潮に達してゐるが學校當局では約六割が入學するものと見てゐる尚ほ來月三日學藥會を開催し終つて父兄懇和會をなすと

納税督勵打合 平町では今二十二日午前十時から町内十一納税組合代表者を議事堂に招集し今後の納税奬勵策其他に就き打合せする處あつた

高女生健康狀態 磐女校では二十日を健康相談日として賀澤校醫により希望者廿九名の診察を行つたが鼻加答留が最も多數であつた 鼻加答留五、扁桃腺肥大三、涙幹狹窄症二、蓄膿症二、十二指腸、左眼輕腫、トラホーム、咽喉加答留、常習便祕、風邪各一、異狀なし一一

芳醇銘酒
營業所開設
倍舊の御引立相仰ぎ度奉懇願候
平町二丁目一一
白馬の雪營業所
辰の口本家 松本德一
電話（五四六 營業所 二八五 本店）
ハクバノユキ

内科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

花環の御用命は
新らしく安い！
橋本屋造花店へ
平新川町（電一六三）

夜診
胃腸 内科 十二指腸虫病 専門 内科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 専門 外科部
松村醫院
（平南町電話一〇七番）
診療時間

淋藥界の最高權威（知名新）東京朝日、富士、大阪 東京日日、講談大阪 開推奬
絶對責任藥（二日内服効ナキ時ハ殘藥引替ニ全部即時返金ス。）
世界の名湯別府温泉で名高い。岩里家の家傳秘藥は男女血ウミ、コシケ、淋病、消渇に奇績的効果ありドンナ頑固な淋病でも短時日に根治が出來且つ再發する事絶對になく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず名藥別府淋藥の御服用により幸福を得られん事を希ふ。
岩里別府淋藥
岩里
別府淋藥
藥價（急性用金參圓、惡性用金五圓）
商標 岩里

無効藥 藥價 一二號十一日分金參圓 一號七日返金藥 一分金貳圓 三號廿一日分金五圓
天下の名湯別府温泉岩里家の家傳秘藥に花柳病學の權威獨逸クロベル博士專門博士下山大家の方劑を加味し臨床實驗多年研究の結果完成せる理想的官許製劑完全なる諸毒内掃し
高貴藥 家傳 胃腸妙散 藥價（六日分金參十錢 十三日分金六十錢）
浦上家相傳、秘藥に和漢高貴藥配劑せる絶對的胃腸妙藥なり
製藥發賣元 岩里天然堂（別府市中濱町）
製藥發賣元 小林正効堂 横濱磯子區磯子町
特約一手販賣 渡邊いと（平町三丁目 舊郵便局裏）

1932年電氣及ビラヂオ界の最前線に立ちて
開店披露の爲古山電氣商會の一大飛躍
……電氣及びラヂオの事なら何んでも御相談下さい……
開店披露
◎何とスマートな近代美！
◎何と低廉な此の價格！
▼今年の文化娯樂は當店の肉聲百バーセント高級セットから
▼此の際是非電池不用エリミネータ一式受信機に改良致しまそう。エリミネーター式受信機
何れも最高級品〜四球式……三〇、〇〇〇圓 五球式……四二、〇〇〇圓
△其の他修理實費▽
◆モートル修理安價に御相談致します。
▼衛生……經濟……理想的な電氣器具を以て 御家庭萬端〇K!!!
□其他電氣用器具一式大廉賣
平町田町十九（藤田女學校際）
古山電氣商會

内臓外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

セダン揃ひて！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三四三番

吉田眼科病院
平町紺屋町

月曜論壇

解し難き心理

各候補得票の掲示前に蝟集し、戰績の一進一退に片唾を呑む選擧大衆中、選擧には比較的無關心なるべき筈の婦女子迄交つて熱心に刻々展開し行く町村別の數字を凝視して彳立久しうするものが少からざりしが如きまさに時潮の動きとして見逃がせぬ選擧新風景の一つであり少くも其間一般の有する政治的自覺の程度を物語るものとして時節柄寔に喜ばしい現象ではあるが其さに各候補得票の跡を檢討する時に於て地方の有權者が未だ以て其の候補者の所屬する政黨の主義綱領と候補者自身の經綸抱負に重きを置かず、依然區々たる對人的の私的同情心に囚はれ、不知不識の裡に選擧の本義を沒却しつつある事が而も極めて簡明直截に看取され、吾人の遺憾に堪へぬものがある。既往は追ふべからざるも、斯の如き謬見に支配され、將來の幸福を度外した不用意なる擧措によつて政治的教育の未熟を嗤笑さるるが如き、絶對之を避けんとする心掛けがあつて欲しいと思ふ。

毅然たる節操

苦しい時の神頼み。なる俗諺を其の儘に、平常悟として祭祀禮拜を懈り、其の時に迫んでのみ叩頭百遍いとも無理な願ひ事をする不心得な手合あり、今回の總選擧に方つて私的關係の爲にその目標を誤まれる有權者があつたとせば今後如何なる場合あるにせよ少くも天下岐け目の戰ひに於て自己が閑却した人物に頼らぬ丈けの毅然たる節操と良心の持ち合せがあらねばならない。

槍は長押に

中原の戰果茲に收まつて槍は長押に刀は鞘に。濱通りの天地は再ひ以前の靜謐に還つて、誇に燿く三選良が完成された。此際吾人民衆は新選良の今後に全幅の信頼をかけて其の健闘を期待し且つ健康を祝福して止まない。敢て洋々たるその前途に欣びの衷情を紓ぶ

運命の箱は開かれたり

比佐、鈴木、佐藤、氏家四氏に反映した濱三郡七萬四千名の總意

けふ最後の審判終る

既往半ヶ月に亘つて選擧大衆の心臟を總動員した總審判は、昨二十一日朝來いき詰る緊張裡に各開票所の蓋あけによつて清算を開始された、けたたましい電鈴は間斷無しに鳴り響いて、櫛の齒を挽く如き情報の入る都度、各事務所に悲喜の嵐が捲き起る。內郷を最終として石城全郡の開票を了したのが深更十時半、相馬郡の中村開票區分を併せ同日中の投票總數

一三、八五二票　鈴木辰三郎　一一、〇四一票　佐藤庄太郎　一五、四六九票　比佐昌平　四、三八九票氏家清

斯くして第一日目の開票を終つた。二十二日續行、富岡、原町南開票區の分を加へ各候補の善戰健闘は次の如き情勢を以て進みつつある

（二十三日午後二時現在）

一七、〇四一票（內石城郡得票八、一四六）佐藤庄太郎
一五、九七七票（同一五、二三七）比佐昌平
一五、〇三五票（同一二、一四七）鈴木辰三郎
一〇、三一五票（同一、一三九）氏家清

石城郡

町村	有權者數	鈴木辰三郎	佐藤庄太郎	比佐昌平	氏家清	政友合計	民政合計	棄權無効
平町	四、四一九	一、三八二	九四四	一、五四九	一九六	二、三三六	一、七四五	二九七
內郷	五、三六九	一、三七	七五五	二、四五九	一五〇	二、六〇八	五、五七	三一〇
好間	二、二六八	七一九	二九一	九四四	八二	一、〇一〇	一、〇一五	二一四
赤井	一、四一五	三三六	三七〇	五八三	七	七〇六	五九〇	三
平窪	六二八	一九五	二一六	一七一	七	四二一	一八	一
小川	八七四	四三〇	一〇九	二四八	一	五三九	一四九	二
永戸笹輪	八〇八	二〇〇	三三一	三五八	三	三三三	三七〇	四
三坂澤波	八二九	一七	二四七	二四四	二六	四八四	四五五	六
神白	一、七二	二一九	三五五	一四四	八	三六六	一五一	三
飯野	六四五	一四七	一三九	一八九	七	三六六	一八六	一
高久	五一五	三四六	一四	七〇	二五	二四〇	一八〇	二
夏井	五四〇	二六九	二五	一七九	二	一、〇一〇	九五一	二
江名	一、一四四	四二一	一〇四	二九四	一七	一、〇四〇	五五四	一
豊間	七三六	三六〇	八八	一四〇	四六	一、〇四〇	四四八	一六
鹿島	三八三	一二四	一三	一〇四	三	一、〇四〇	一八〇	二
玉川	四六二	一九八	九	三一	四六	五八三	二七〇	四
磐崎	一、三〇一	二三九	三三	五八三	四六	一、〇四〇	六三一	六
湯本	二、八二八	三六八	二六一	一、八八九	二	二、〇四〇	一、九一〇	一
四倉	一、四五四	三三九	四三一	四一〇	六三	一、九一〇	四三二	一
草野	八七四	二五五	二九三	一九二	四	二、〇四〇	四八四	六
大浦	八四九	一七一	四〇〇	一九七	九	一、〇四〇	五四五	六
大野	七七〇	一八五	一七〇	一四〇	一	一、〇四〇	一、〇四〇	六
川前	五九二	四一	二〇五	二一六	八	一、〇四〇	八六四	八
植田	一、一三五	五一三	三一	五一四	四	二七〇	五五四	一
泉	七七五	三二七	二一一	二四三	二七	四四八	二六〇	一
渡邊	四〇八	八六	二一〇	一九	九	二一〇	一三五	一
錦	六二一	三七〇	四一	八四	一	一九〇	一九八	四
山田	六四七	三二九	二九〇	二八	一	二九〇	二四三	四
川部	六九三	二九〇	九〇	八四	一	二九〇	一八五	二
勿來	一、五三一	四四一	二四八	六三一	一〇	六三一	二四〇	一五
上遠野	九三一	三五〇	二九一	三六八	六	一、九一〇	四九九	六
入遠野	八六五	一八五	一八〇	三八四	四	四五二	三六八	六
田人組合	一、五〇八	三一四	四一	四四二	八	一、四二一	三七〇	三
小名濱	一、九七九	六二九	六二八	四四一	七五	一、二九	一、二三五	三
合計	四、一五二〇	三、一四七	八、一四六	一五、一三七	一、二九	二〇、二四二	一六、三七六	三、五七八

相馬郡

町村	有權者數	鈴木辰三郎	佐藤庄太郎	比佐昌平	氏家清	政友合計	民政合計
中村	二、六二〇	六四八	四七二	八九	九四八	一、二一〇	一、〇三七
大野	七六〇	二六八	一五〇	九	二六六	五二三	二六五
飯豊	六六四	六七	二〇八	八	二七〇	二六六	二六七
八幡	四九八	二四	八五	一〇	二四六	一一九	二五六
山上	四四四	五二	五六	六	二三九	一〇八	二四五
磯部	三九九	七	三〇	五	二三五	一〇八	二四〇
駒ヶ峯	五四四	一九	二四三	二	七	二三二	八
日立木	四七	八五	八六	六	一六〇	一七	一六六
上真野	八四四	二三八	二五〇	二	二四八	四八八	二六九
真野	五四四	六〇	二三一	二四	一七四	二九一	一九八
八澤	五一八	一六六	二三〇	一五	二六八	一九六	一五二
鹿島	六三三	四七	二六八	四八	二四一	三一五	二六九
原町	二、〇四七	一三	八三三	一四九	一七六	九一六	九〇五
新地	七一四	二	五二一	四	九七	五六六	一〇一
福田	三一九	二一	二四七	一	九五	二五八	九六
金房	八三一	七一	二五八	二六	二四一	三二九	三六七
福浦	八〇〇	九〇	三四〇	二六	三三〇	四三〇	二四六
石神	一、二七一	二四四	六六一	二八	四四五	六六五	四七三
太田	六〇四	二	二七	二	二六一	二六八	二九一
大甕	八四五	三	三六九	一四	三六八	四二一	三三二
小高	一、二六一	一四九	三六四	五二	五三五	五三三	五八一
新館大須	六四一						
石橋飯曾	六六四						
高平	五八六	二	三六一	九	一三	三六一	一三
合計	一九、六二〇						

双葉郡

町村	有權者數	鈴木辰三郎	佐藤庄太郎	比佐昌平	氏家清	政友合計	民政合計
久ノ濱	八二一	八六九	一〇一	三一	三八一	三〇九	四三
廣野	八六九	五五九	二〇九	二〇	五五一	二六一	三七二
木戸	六三一	四三	三四	三	二〇七	三五七	三一九
龍田	八二七	一〇七	二〇一	三一	二〇九	二〇九	四三
大野	八一七	一〇七	二〇九	二〇	二五一	二六一	三七二
富岡	七六二	一七	二〇九	一六	二〇八	四三六	二〇九
上岡	八九九	六三〇	一六一	一	二〇七	二〇八	三一八
川內	六三〇	二六	二九〇	六	二〇三	四二六	二〇九
熊町	七三七	二六	二九〇	六	二〇三	二九六	二〇九
新山	七三七	一四	一五一	三	二六	二〇九	一四一
長塚	四九二	二〇	二三五	六	二六八	二五五	一九四
請戸	五五七	三八七					
幾世橋	三八七						
浪江	一、〇九六	一四一	二七七	一六	三三八	二七七	三四四
大堀	七四一	二〇	二七七	一六	二三八	二九〇	三三三
刈野	七〇五	一〇八	一八一	二	三〇二		
津島	四六六						
葛尾	四七〇						
大久	四三						
合計	三、六七七						

本社の慰問に對する謝狀一束

118

滿洲から

砲煙彈雨を冒しつつ約二萬の敵陣を衝く

ハルピン入城直前の戰況

井砂正雄君

國家益々重大の秋に當り貴社の御發展を御祈り申上げます、就ては本社より御送附下さる新聞誠に有り難く拜受致し謹みて御禮申上ます、小生入營後は陰陽共に御配慮に預り加之渡滿に際し

◇事變突發以來は小生一人のみならず生家に至る迄親身も及ばざる御援助の程深く〳〵感謝致し居る次第であります、斯く上は一意專心奮鬪努力を以て外敵に當り皇威發揚の爲又國權保護の爲ひいては皆々樣の御期待に添ふ決心で御座います、顧れば九月十八日以來奉天城、三間房、昂々溪チチハルの戰鬪にも加はり

◇又錦州攻擊に、又馬賊討伐に近くは哈爾賓攻擊にも參加致しましたが幸にも微傷だに負はず大君の股肱と成り奮鬪出來得るのは偏に皆樣の御援助の賜と深く感謝致して居ります、斯る戰鬪は既に皆々樣の御承知の所なれば耳新しきハルピンの攻擊を少しく御傳へ致します、遼中警備中の第一大隊に突然出動命令降下直に

◇北方ハルピンへと鋒先を轉じ折柄の寒氣の中を貨物列車に搭乘致し雙城堡驛に下車し行軍にて各所の敵を追ひ散らし二月四日ハルピン南方約一里半位の地點に到着致しました、同日午後三時半愈々戰鬪は開始され砲煙彈雨の中を約二萬の敵陣地目がけて前進致しました敵も既に測定せるものの如く彈着頗る良く又ハルピン市中にて展開せるを以て其の影すらも見出す事も出來ず

◇甚だ困難を感じました、かくして午後六、七時頃一角の部落を占領し此れに依りて明拂曉の攻擊を準備致しました、敵彈は相變らず前後して落下し友軍にも多數の死傷者さへも數ふるに至りました、敵兵力の大なるに引きかへて友軍は二ケ中隊の兵力のみ、あまつさへ彈藥に不足を來し連絡は不通となり甚だ苦戰の有樣でした、辛じて數回の

◇敵襲を喰ひ止め明けて五日我が野砲飛行機、戰車等の共力を以て二萬に餘る敵兵を打ち破り堂々とハルピン市を占領致しました目下當市街の警備の任に當つて居ります、此れはほんの大略に過ぎません、然し我が帝國の大和魂の如何に尊いかを確りと見る事が出來ました、此の戰鬪に於ける我が○○聯隊の死傷者は二十一名、傷者約七十名に達して居ります、此後共風雲急を告げて居ります、其の時こそは飽迄奮鬪致す覺悟に御願申上ます。

眞面目な總選擧に

巫山戲た無効投票

何時の選擧にも必ず奇拔な一圓也右選擧日當として正無効投票があるものだが今に領收候也』と麗々しく書回も內郷村では文字不明のいたもの、あられも無い痴ため百五十票が無効、平町蝶亂舞の嬌態を書いた不屆では佐野學二名、麻生久一者迄が一名あつた名更に振つて居るのは『金

土肥土木課長巡視

けふ來平あす双葉へ

新任本縣土肥土木課長は管內初巡視の爲め今二十二日午後零時五十五分平驛着土木監督所、平署、町役場、夏井、藤原兩河川を巡察の上住吉屋本店に一泊明二十三日は湯本、植田、小名濱、海氣館に宿泊の上双葉郡方面へ向ふ筈である

平町道路鋪裝陳情

町長から土木課長へ近く目鼻つかん

平町の鋪裝道路は時節柄失業者救濟事業を兼ね是非七年度事業として起工すべくの處至極有望視されてゐる再三關係區民會を開催結束を固め縣當局に陳情する一方地元三縣議を動かして其筋に交渉中であるが今二十二日は土肥土木課長の初巡視を機に伏見町長其他關係者より詳細な事情を陳情する處あつた尙近く內務省拔師が來平調査する筈で目下榮轉した島田滿氏は二十四日午前八時五十分平發列車で赴任すると

海軍募集締切

平町に於ける七年度海軍志願兵は二十日募集を締切つたが應募者二十三名（昨年より六名增）の檢査は來月三日午前八時半から平第三小學校で執行すると

金銀消費

合計一貫五匁

價格一萬圓也

平町役場昨年分の調査

平町役場では昨年中カンヅメ屋、齒科醫で消費した金銀量を調査したが

△白金六二匁、價額六八八圓△金一、六五八匁、價額九、二三八圓△銀二八五匁、價額一一五圓

合計二貫五匁、價額一萬四十一圓に達して居るが之の大半は十軒の齒科醫で義齒用として使用され殘りの僅か金銀合せた二百十九匁價額百三十六圓が細工用に供せられたものである

平町で歡迎宴

平町では土肥土木課長を迎へ今二十二日午後五時半から谷口樓で歡迎宴を開催する

島田警部出發

平署

公民科を女磐に

法制經濟の概念を授く

磐女校では今春四月から從來課外として教授して來た法制經濟を廢し公民科を正課とし法制經濟の智識を與へると共に國民的訓練をなす事となつたが來る廿九日福島で之に關する打合せがあると

縣下女子中等學校長會　四月下旬磐女校に開催される